



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2013年6月

No.6

「言葉」

今年2月、石巻に人を訪ねた。2年前の津波で23年連れ添った夫と最愛の娘さんを失った方だった。復興の掛け声や明るい話題が人の口に上るようになってきたことも確かだけれど、実は正反対にどんどん言葉が出なくなっている人たちが回りに少なくないのだ、とおっしゃった。マスコミで報じられるのは言葉の出る人たちの姿で、沈黙に沈む人たちは仮設住宅や避難先で、もう誰とも言葉を交わすことをしない。2年前は皆同じだったのに、復興の話題にどうしても出てくるお金の話や復興できる人とそうでない人の間に広がる格差、それを妬む言葉に傷ついて、もう聞きたくなくて、黙って筆っている人たちが多くを知ってほしいと言われた。

それから、ミッション系の学校に行っていた娘が遺してくれた言葉を思い起こすと聞かれた。「艱難は忍耐を生みだし、忍耐は練達を生みだし、練達は希望を生み出すことを知っている。そして希望は失望に終わることがない」娘はこの聖書の言葉をとても大事にしていた、と。最初に聞いた時は聞き流していた。でも震災後、家族を失い、真っ先にこの言葉を思い起こした。今は一筋の希望となっている、と。その時には気にも留めなかった何気ない一言が、夫と交わした言葉が思い出される時、自分は生きてゆける、23年間交わした言葉が残っているから、あと少なくとも23年間は生きてゆける。言葉では伝わらないと言ったけれどやっぱり言葉が大事だと思う、とおっしゃった。言葉では伝わらない、でも言葉でしか伝わらない思いがある。そしてその言葉が人を生かすものだということを知った。

聖書の言葉は数千年に亘って多くの人の傍らにあって、喜ぶ人の喜びに花を添え、悲しむ人の哀しみに寄り添ってきた。辛い思いをしている時に一緒に心を寄せる言葉に慰められることがある。聖書の言葉が「わたしの道の光」、「わたしの歩みを照らす灯」(詩編 119:105)となるのは、明るい屋間ではない。どうしていいかわからないほど先が見通せなくて真っ暗に思える中でこそ光となり灯となる。皆さんがこれから出会う人や書物を通して命の言葉が与えられますように。

(人間福祉学部副チャプレン 左近 豊)

2013年度テーマ聖句

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

(マタイによる福音書 5章14、16節)

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時30分～19時30分、緑聖ホールC室にて行っています。自由に参加ください。

- ・6月20日(木) 列王記下第24章 濱田 辰雄チャプレン
- ・6月27日(木) 列王記下第25章 東野 尚志牧師 —キャンパス祈禱会—

全学礼拝期間について

2013年度的全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、10時20分から10時50分です。どなたでも自由に参加ください。

春学期/2013年4月9日(火)～2013年7月19日(金)

チャールズ・エリアス・ガルスト奨学金授与式

- 日時 2013年6月28日(金) 10時40分～10時50分(全学礼拝に引き続き行います)
- 場所 聖学院大学チャペル
- 内容 本奨学金は過去3年間の成績が優秀であった学生に贈られます。各学科4年生の成績優秀者にその栄誉を称え授与式を行います。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



6月18日(火)

聖書朗読とオルガン演奏「主の祈り」

奨励・演奏 渡辺 善忠
(日本基督教団 巣鴨教会牧師)
司会者 菊地 順

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 II 94 番 1、2 節
聖書 マタイによる福音書 6章 5～13 節(新約 P.9)
祈禱
短い奨励
オルガン演奏 「主の祈り」 F.W. ツアハウ
聖書 ルカによる福音書 11章 1～4 節(新約 P.127)
短い奨励
オルガン演奏 「主の祈り」 D. ブクステフーデ
讃美歌 II 94 番 8、9 節
主の祈り
黙 禱

6月19日(水)

奨励者 左近 豊
(人間福祉学部副チャプレン)
司会者 佐野 正子
奏楽者 ナイティンゲール 亜衣

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 「鹿のように」
聖書 詩編
30 編 12～13 節(旧約 P. 860)
祈禱
奨励 「大逆転」
祈禱
讃美歌 「鹿のように」
主の祈り
後奏

6月25日(火)



韓国・
長老会神学大学校学生
による証しと讃美



奨励者 矢倉 弦樹
(国際交流課職員)
司会者 菊地 順
奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 352 番 1、2 節
聖書
使徒言行録 4章 12 節(新約 P.219)
使徒言行録 2章 37～39 節(新約 P.216～217)
祈禱
奨励 「信じたならば」
祈禱
讃美歌 352 番 3 節
主の祈り
後奏

6月26日(水)

奨励者 E. D. オズバーン
(人文学部チャプレン)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 相川 徳孝

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 379 番 1、2 節
聖書 マタイによる福音書
9章 9～13 節(新約 P.15)
祈禱
奨励 「コンフォート・ゾーンからの脱出」
祈禱
讃美歌 379 番 3、4 番
主の祈り
後奏

6月20日(木)

— 韓国語礼拝 —

奨励者 鄭 鎬碩
(基礎総合教育部 特任講師)
司会者 チェ・ヨンギョン(110W)
奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 韓国語讃美歌 172 番 1、2 節
聖書 エゼキエル書
34章 26～31 節(旧約 P. 1353)
祈禱
奨励 「복된 장마미」(祝福の雨)
祈禱
讃美歌 韓国語讃美歌 172 番 3、4 節
主の祈り
後奏

6月21日(金)

学生の証し

司会者 柳田 洋夫
奏楽・讃判ト 聖学院クリスチャン・フェローシップ(SCF)

◆ ◆ ◆
前奏
讃美 「君は愛されるため生まれた」
聖書 ヘブライ人への手紙
13章 5 節 b(新約 P.419)
祈禱
証し シー イティン (111W)
「神は私を置き去りにしなかった」
祈禱
讃美 「君は愛されるため生まれた」
主の祈り
後奏

6月27日(木)

奨励者 古谷野 亘
(人間福祉学科教授)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆
前奏
讃美歌 461 番 1、2 節
聖書 マタイによる福音書
14章 22～33 節(新約 P. 28～29)
祈禱
奨励 「子どものように」
祈禱
讃美歌 461 番 3、4 節
主の祈り
後奏

◆ ◆ ◆
チャールズ・エリアス・ガルスト奨学金授与式